



2018年11月26日

報道関係者各位

慶應義塾

第707回三田演説会開催（12/13）

「インターネット文明論之概略」

村井 純 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長/環境情報学部教授

三田演説会は慶應義塾で1874（明治7）年に始まり、2015年7月に第700回を数えました。12月13日（木）に第707回三田演説会を開催し、「インターネット文明論之概略」と題して村井 純 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長/環境情報学部教授が講演します。つきましては、本演説会のイベント欄へのご掲載、およびご取材をよろしくお願いいたします。

1. 開催概要

- (1) 日 時 : 2018年12月13日（木） 14時45分～16時15分（開場14時00分）
- (2) 講演者 : 村井 純（むらい じゅん）
（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長/環境情報学部教授）
- (3) 演 題 : 「インターネット文明論之概略」
技術や機械の発達とそれに伴う社会制度の整備などにより、人知が進み、精神的に、また、物質的に生活が豊かになった状態を文明と呼ぶとしたら、私達は既に「インターネット文明」の緒に就いたことになる。科学、道具、文化、社会、地理、そして、文明における対立や衝突。さまざまな視点で、この新しい文明を考察する。
- (4) 会 場 : 慶應義塾大学（三田キャンパス）三田演説館
東京都港区三田2-15-45
- (5) 交 通 : JR 山手線・京浜東北線 田町駅下車（徒歩約8分）
都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅下車（徒歩約7分）
都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車（徒歩約8分）
<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>
- (6) 参 加 : 入場無料・申込不要（定員約140名）
※座席は先着順です。満席の場合は立見または入場を制限させていただく可能性がございますので、ご了承ください。

2. 村井 純君 プロフィール

〔略 歴〕

1987年 慶應義塾大学大学院 工学博士取得。

1984年 日本発のネットワーク間接続「JUNET」を設立。1988年 インターネット研究コンソーシアム WIDE プロジェクトを発足させ、インターネット網の整備普及に尽力。初期インターネットを、日本語をはじめとする多言語対応へと導く。内閣高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT 総合戦略本部）有識者本部員、内閣サイバーセキュリティセンターサイバーセキュリティ戦略本部本部員、IoT 推進コンソーシアム会長ほか、各省庁委員会の主査や委員などを多数務め、国際学会等でも活動。2013年「インターネットの殿堂（パイオニア部門）」入りを果たす。「インターネットの父」として知られる。

〔著 書〕

『インターネット』（岩波書店、1995年）

『インターネットⅡ』（岩波書店、1998年）

『インターネット新世代』（岩波書店、2010年）

『角川インターネット講座』第1巻「インターネットの基礎 情報革命を支えるインフラストラクチャー」（角川学芸出版、2014年）

『角川インターネット講座』全15巻（角川学芸出版）監修
ほか

3. 三田演説会について

三田演説会は、福澤諭吉を中心に小幡篤次郎、小泉信吉など10余人の義塾の先進者たちによって、演説、討論の研究錬磨の場として1874（明治7）年6月27日に発足し、翌年、日本最初の演説会堂である三田演説館が完成しました。スタイルや話題は変わっても、福澤諭吉の精神は時を超えて三田演説会に脈々と受け継がれています。三田演説館は1967（昭和42）年、国の重要文化財に指定されています。

福澤は、「演説とは英語にて『スピーチ』と云ひ、大勢の人を会して説を述べ、席上にて我思ふ所を人に伝るの法なり」（『学問のすゝめ』十二編）と述べています。演説という概念はその当時の日本には存在せず、多くの聴衆の前で自分の意見を述べるという「演説」を実践しながら、試行錯誤の末に創造されました。経緯は『三田演説日記』などの記録に記されていますが、演説の練習を行うにあたり「決して笑ってはならない」と取り決めたというエピソードが「演説会」創始の苦心を端的に物語っています。

また、福澤は「演説」「討論」などの言葉も創り出しています。「演説」は「スピーチ」の訳語ですが、福澤の出身藩である旧中津藩で藩士が藩庁に対して意思を表明するために用いた「演舌書」という書面に由来します。「舌」という語句は俗的であったために「説」に換えたと言及福澤本人が述べています。

旧来の言葉に「スピーチ」という新しい意味と実体を与えたことに大きな意味があったとされています。さらに「ディベート」の訳語を「討論」と定め、「否決」「可決」などの用語が決められました。

*本資料は文部科学記者会、新聞各紙社会部・文化部、イベント欄担当等に送信しております。
*ご取材に際しては、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 豊田

TEL 03-5427-1541

FAX 03-5441-7640

Email m-pr@adst.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/>